

2022年5月13日

各位

会社名 株式会社ガーラ
 代表者名 代表取締役グループCEO 菊川 暁
 (コード：4777、スタンダード市場)
 問合せ先 取締役CFO 岡本 到
 (TEL. 03-6822-6669)

2022年3月期連結業績と前期実績との差異及び個別業績と前期実績との差異並びに連結決算における営業外収益（暗号資産売却益、暗号資産評価益及び為替差益）、個別決算における営業外収益（為替差益）、特別利益（社債償還益）及び特別損失（関係会社事業損失引当金繰入額）の発生に関するお知らせ

当社は、2022年3月期（2021年4月1日から2022年3月31日）連結業績と前期実績との差異及び個別業績と前期実績との差異並びに連結決算における営業外収益（暗号資産売却益、暗号資産評価益及び為替差益）、個別決算における営業外収益（為替差益）、特別利益（社債償還益）及び特別損失（関係会社事業損失引当金繰入額）の発生に関して、下記のとおりお知らせいたします。

なお、当社は2022年3月期の業績予想は公表しておりません。

記

1. 2022年3月期連結業績と前期実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績 (A) 2021年3月期	985	26	93	△131	△6.98
当期実績 (B) 2022年3月期	600	△297	△220	△186	△9.77
増減額 (B-A)	△384	△324	△313	△55	—
増減率 (%)	△39.0%	—	—	—	—

2. 2022年3月期個別業績と前期実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績 (A) 2021年3月期	55	△210	△169	△184	△9.80
当期実績 (B) 2022年3月期	72	△172	△158	△241	△12.66
増減額 (B-A)	16	38	11	△57	—
増減率 (%)	29.1%	—	—	—	—

3. 差異が生じた理由

(1) 連結業績

2022年3月期の連結業績は、連結売上高600百万円（前期比39.0%減）となり、大幅な減収となりました。これは、主にスマートフォンアプリ事業において、前期にライセンス譲渡による一時的な売上高が発生したこと及び当該ライセンス譲渡によるスマートフォンアプリ事業の売上高が減少したことにより前期と比較し売上高が減少したものであります。

営業利益及び経常利益につきましては、売上高減少に伴う売上総利益の減少があった他、販売費及び一般管理費が前期と比較して「Rappelz（ラベルズモバイル）」に係るアウトソーシング費用が増加したものの、ソフトウェア償却費が減少したことから減少となり、また、営業外収益として、主に暗号資産売却益24百万円、暗号資産評価益24百万円及び為替差益25百万円を計上したことを理由として前期実績と比較して差異が生じました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、主に前期に減損損失228百万円が発生したことを理由として前期実績と比較して差異が生じました。

これらの結果、営業損失297百万円（前期は営業利益26百万円）、経常損失220百万円（前期は経常利益93百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失186百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失131百万円）となりました。

(2) 個別業績

2022年3月期の個別業績は、売上高72百万円（前期比29.1%増）となり、増収となりました。これは、主にクラウド関連事業の売上高が前期と比較して増加したことによります。

また、営業利益及び経常利益につきましては、株式報酬費用の減少があったものの、連結子会社(株)ガーラジャパンに対する貸倒引当金繰入額の計上等に伴う販売費及び一般管理費の増加、また、営業外収益として、主に為替差益7百万円を計上したことを理由として前期実績と比較して差異が生じました。

当期純利益につきましては、主に社債償還益97百万円を特別利益として計上した一方で、主に関係会社事業損失引当金繰入額180百万円を特別損失に計上したことを理由として前期実績と比較して差異が生じました。

なお、上記のうち、貸倒引当金繰入額、社債償還益及び関係会社事業損失引当金繰入額は、連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績への影響はありません。

これらの結果、営業損失172百万円（前期は営業損失210百万円）、経常損失158百万円（前期は経常損失169百万円）、当期純損失241百万円（前期は当期純損失184百万円）となりました。

4. 連結決算における営業外収益（暗号資産売却益、暗号資産評価益及び為替差益）の発生について

(1) 営業外収益（暗号資産売却益、暗号資産評価益及び為替差益）

当連結累計期間において、当社連結子会社 Gala Lab Corp. が保有していた暗号資産（仮想通貨）を売却したことによる暗号資産売却益24百万円、当社連結子会社 Gala Lab Corp. が保有する暗号資産（仮想通貨）に関して、2022年3月期末の市場価格で評価替えを行ったことにより発生した暗号資産評価益24百万円、昨今の為替相場の変動による為替差益25百万円を営業外収益に計上しております。

5. 個別決算における営業外収益（為替差益）、特別利益（社債償還益）及び特別損失（関係会社事業損失引当金繰入額）の発生について

(1) 営業外収益（為替差益）

当事業年度において、昨今の為替相場の変動による為替差益7百万円を営業外収益に計上しております。

(2) 特別利益（社債償還益）

当事業年度において、過年度に減損処理を行った投資有価証券（社債）が償還されたことにより、社債償還益97百万円を特別利益に計上しております。

(3) 特別損失（関係会社事業損失引当金繰入額）

当事業年度において、関係会社の事業の損失に備えるため、関係会社に対する出資金及び貸付金等債権

を超えて当社が負担することとなる損失見込額の2022年3月期の繰入額として関係会社事業損失引当金繰入額180百万円を特別損失に計上しております。

5. 2023年3月期の業績見込みについて

当社グループは、スマートフォンアプリ事業における、アプリの開発やダウンロード配信が予定どおりに進まない可能性や、ダウンロード配信開始後のアプリによる課金収入の予測が極めて困難であり、また、オンラインゲーム事業における、既存タイトルのバージョンアップによる業績予測が極めて困難であります。さらに、新規事業であるクラウド関連事業及びVR事業については、当該事業を取り巻く環境の変化等により損益が大きく変動する可能性が高く、適正な業績予想が極めて困難であることから、業績予測の公表を差し控えさせていただいております。

以 上